

ば・あ・や・の・う・け・う・り

〔汚染水〕

福島第一原発で、タンクにたまり続けている汚染水は、2022年に満杯予定。国は海への放出を検討、安全性を福島県に説明…。汚染水対策官・木野正登さんの記事～

「今の技術では、取り切れないトリチウム。例えるなら、トリチウムはピンポン玉。セシウムは野球ボール。当たると、野球ボールは痛いけど、ピンポン玉は痛くない。痛みの強さがシーベルト。タンクの汚染水を一年ですべて海洋放出しても、近くの住民が、魚介類を食べたり(内部被曝)…。砂浜で過ごしたり(外部被曝)しても、自然年間被曝量2100マイクロシーベルトに、増える年間被曝量は、0.81マイクロシーベルト」と。(抜粋)そうなんですね…だから…大丈夫…と。それなら、先ず、東京都を説得して、東京湾に放出すれば、世界中の皆さんが納得…。昔、福島第一原発を見学した時、真っ白な壁に「グリーン」「安全」の大きな文字のポスターが。(安全なら、なんで東京湾につくらないの？ そっかあ…安全じゃないから福島なんだ…)原発事故で、昔の事を思い出しました。

今年の敬老会は、コロナ感染を防ぐため、中止になりました。75歳以上の方、米寿・白寿の方へのお祝い品は、郡山市から、直接皆さんに送られます。春から、がまん…がまん…なので足腰ばかりじゃなく、気持ちまで弱気になっちゃいそうです。少しでも楽しくなることをして自分にやさしくして下さい。

「いくつになっても…いつまでも元気で、がんばっていたい…若い人に迷惑はかけたくない」と、誰でも願うことです。でも、人は生まれてから5～6年は誰かの世話にならないと生きられないし、最期も5～6年は、誰かの世話にならなきゃならない…。親と孫をみながら気づきました。だから…おたがいさまですね。

ちょっとだけ靈感がある…と思っています。母の納骨の日の前夜12時前、外に出ていたら、明かりが県道から、すうーと入ってきて、ゴミ置き場でしばらく止まっていて、何？これは…と試みていたら、かすかに物音も…。またすうーと動きだしたら、坂の半分くらいあがって、消えてしまった。明かりは懐中電灯くらい。速さはシニアカーくらい。誰かがシニアカーで、真夜中にゴミ出し…？？それはない…こんな山中で。なので…勝手に、1年9ヶ月寝たきりだった母が、自分でゴミを出し、「これに乗って行くから大丈夫…」と。

看とり期の母には最期の新芽かと
つみしウコギをミキサー食に (2020年5月)



夏
赤の
い疲
れた
うた
の心
生に
気を